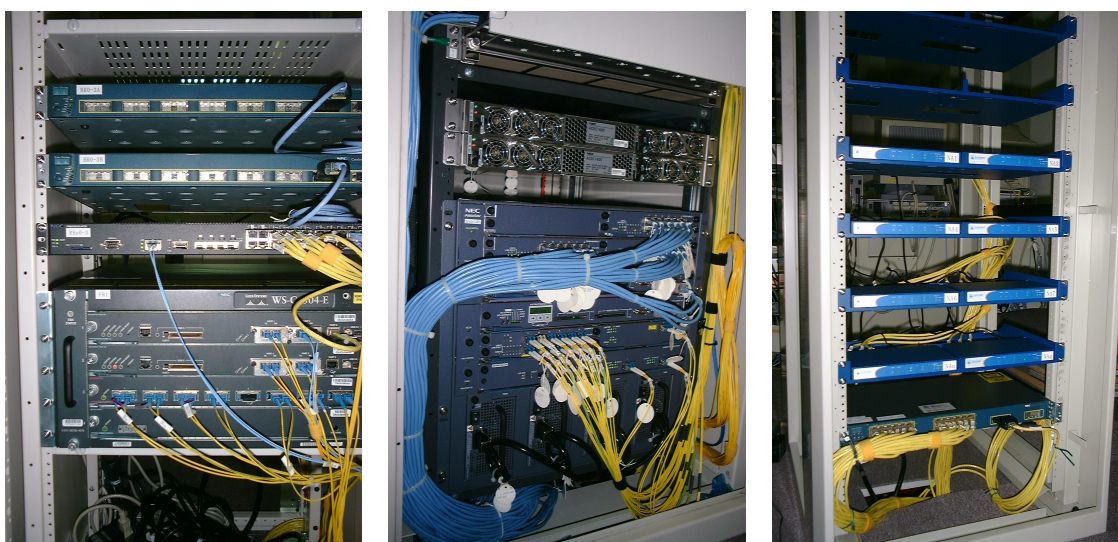


KUINS ニュース No. 58

京都大学 情報環境機構 KUINS 運用委員会

<http://www.kuins.kyoto-u.ac.jp/>



SINET3 接続用機器 (左：KUINS 側ルータ, 中央：NII 側ノード), NAT 装置 (右)

目 次

SINET3 への接続切り替えが完了しました	710
大型計算機システム電子メールサービス sakura での fml 利用方法	710
KUINS-II サブネット連絡担当者への連絡用メーリングリスト作成について	712
spam メールの学外転送の制限について	713
KUINS のスパム判定サービスに対応したメール転送フィルタの設定について	713
spam 判定ヘッダ統一のお知らせ	715
KUINS-III NAT サーバの増強と SSH への対応について	716
KUINS 会議日誌	716
お知らせ	716

SINET3 への接続切り替えが完了しました

この度、KUINS では対外接続用ネットワークとして使用していました SINET/SuperSINET 接続から次世代学術情報ネットワーク (SINET3) 接続への変更が完了し、8 月 19 日 (日) より本格的な利用を開始しました。これまで、KUINS と SINET/SuperSINET との間は 1Gbps の速度でしたが、SINET3 との接続により回線容量が 10Gbps にまで増速されました。SINET3 では、豊富なネットワークサービス (マルチレイヤサービス、マルチ VPN サービス、マルチ QoS サービス、レイヤ 1 帯域オンデマンドサービス等) が展開され、利用者のニーズに合ったネットワーク利用が可能となっております。(詳しくは、KUINS ニュース No.55「次世代学術情報ネットワーク (SINET3) の概要について」を参照ください。)

今回の SINET3 との接続変更に関しまして、長きにわたりご迷惑をおかけしましたが、予定していた接続構成に変更することができました。御礼申し上げます。

大型計算機システム電子メールサービス sakura での fml 利用方法

学術情報メディアセンター
大型計算機システムメールサービス担当

メーリングリストとは、複数のメールアドレスを登録したリストです。そのリストに対応づけられたアドレスにメールを送ることにより、リストに登録されたメールアドレス全てに対して同じメールが送られます。例えば特定のメンバーで頻繁にディスカッションをする場合などには、いちいち個別の宛先を書く必要がないため、非常に便利です。

全国共同利用大型計算機システム sakura においては、メーリングリストを簡易メーリングリスト機能により利用することが出来ます。この簡易メーリングリスト機能は、大型計算機システムのホームページサービス (<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/services/whs/homepage.php>) におけるメールホスティングサービス (http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/services/whs/support/use_take.php#mail) も担っています。

これに対して、ユーザ登録や削除、また、一步進んだメーリングリスト管理が可能な、fml という便利なツールがあります。本記事では、sakura 上での fml のインストール方法や基本的な利用方法を御紹介します。更に進んだ利用方法については、今後の KUINS ニュースで御紹介していく予定ですが、早目にお知りになりたい方は、例えば http://www.fml.org/fml/Japanese/basic_setup/ を御覧下さい。

なお、fml は一般的なツールですが、本記事で御紹介するインストール方法は、sakura 上でのみ有効な方法ですので、ご注意下さい。設定方法などは一般の fml でも同じです。

インストール手順

ここでは、sakura 上にアカウント x12345 を持っているユーザが、fml をインストールする手順を示します。

1. 自分のディレクトリ直下に、src というディレクトリを作る。(既にある人は必要ありません.)

```
x12345@sakura ~ % mkdir src
```

2. /usr/dpc/lib/src/fml-4.0-stable-20040215-sakura.tar を src にコピーして来る.

```
x12345@sakura ~ % cd src
```

```
x12345@sakura ~/src % cp /usr/dpc/lib/src/fml-4.0-stable-20040215-sakura.tar .
```

3. コピーしてきたファイルを展開する.

```
x12345@sakura ~/src % tar xvof fml-4.0-stable-20040215-sakura.tar
```

4. 展開したディレクトリに移動する.

```
x12345@sakura ~/src % cd fml-4.0-stable-20040215-sakura
```

5. インストールする.

```
x12345@sakura ~/src % ./makefml -U install
```

- 全ての質問に対して、以下の例外を除き、デフォルト値をお答え下さい。(つまり、単にリターンを押して下さい.)
- 最後の質問「--- Install the Fml system to /home/r/x12345/fml. (y/n) [n]」には「y」と答えて下さい.
- 仮想ホスティングドメインを使っている方は、「DOMAIN NAME」に対する質問には、そのドメイン名を記入して下さい.

これでインストールは完了です.

基本的な利用方法

以下、メーリングリストの基本的な利用方法を御紹介します. x12345 というアカウントを持っている人が、hoge hoge というメーリングリストを作成する例を示します. 作られるメーリングリストのアドレスは hoge hoge@x12345.sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp となります.

・メーリングリストを作る

fml ディレクトリで、以下のコマンドを実行します.

```
x12345@sakura ~/fml % ./makefml newml hoge hoge
```

(ただし、既に hoge hoge という名前のメーリングリストを、fml や簡易 ML でご利用中の場合、上書きされてしまいますのでご注意ください.)

・メーリングリストを削除する

fml/ml/ というディレクトリの下に hoge hoge というディレクトリがあるので、それ以下を全て削除します. ホームディレクトリの下に .forward+hoge hoge というファイルがあるので、それを削除します.

- ・ **メーリングリストにメンバーを登録する**

hogehoge というメーリングリストに、persopn1@media.kyoto-u.ac.jp というメールアドレスを登録する例を示します。fml ディレクトリで、以下のコマンドを実行します。

```
x12345@sakura ~/fml % ./makefml add hogehoge person1@media.kyoto-u.ac.jp
```

- ・ **メーリングリストからメンバーを削除する**

hogehoge というメーリングリストから、person2@media.kyoto-u.ac.jp というメールアドレスを削除する例を示します。fml ディレクトリで、以下のコマンドを実行します。

```
x12345@sakura ~/fml % ./makefml bye hogehoge person2@media.kyoto-u.ac.jp
```

- ・ **メーリングリストの設定を変更する**

fml ディレクトリで、以下のコマンドを実行します。

```
x12345@sakura ~/fml % ./makefml config hogehoge
```

対話形式による設定変更が開始されます。

ここでは、メーリングリスト作成時における投稿可能者の設定を変更する方法を紹介します。

メーリングリストが作成された状態では、リストに登録されているアドレスからしか投稿を受け付けられない設定になっています。これを、誰からでも受け付けるように設定変更してみます。

1. ./makefml config hogehoge と打つ
2. メニューの中の「1 POLICY OF ACCESS (WHO CAN POST AND USE COMMANDS) を選ぶ」
3. メニューの中の「1 PERMIT_POST_FROM を選ぶ」
4. メニューの中の「2 anyone を選ぶ」

KUINS-II サブ ネット 連絡担当者への連絡用メーリングリスト 作成について

情報環境機構 KUINS 運用委員会では、KUINS-II サブ ネット連絡担当者の皆様と障害やお知らせ等の各種連絡を密にするため、KUINS-II サブ ネット連絡担当者連絡用メーリングリストを作成しました。このメーリングリストには、**工事等によるネットワークの停止連絡、ネットワーク障害情報、SINET からの工事や障害等の連絡**等を流すことにしています。これを活用する事により、情報環境機構と KUINS-II サブ ネット連絡担当者との連携を密にして、障害情報提供やメンテナンス連絡等の情報提供の充実を図りたいと思います。

spam メールの学外転送の制限について

KUINS ニュース No.54「Anti-spam 対策機器による帯域制限について」および KUINS ニュース No.55「学外へのメール転送について」でご案内しておりますように、大量の spam メールが情報環境機構のメール中継サーバから学外に転送されております。その結果、ほぼ全てのメール中継サーバが、ボランティア組織だけでなく商用のブラックリストにも登録され、ISPをはじめとする多くの学外機関から受信拒否を受け始めています。受信拒否は、メールの内容、送信者、受信者ではなく、サーバの IP アドレスに基づいて行われますので、spam ではないメールも先方に届かなくなっています。

この問題に対処するため、2007 年 11 月 1 日より、情報環境機構の spam 判定サーバにより spam と判定されたメールを、学外に転送しないようメール中継サーバの設定を変更いたします。本来であれば、十分な周知期間を設けた後に本変更をすべきですが、現在のブラックリストからの登録削除、および、他のブラックリストへの登録回避のため緊急性があると判断し、変更作業を優先させていただきます。メールサーバのエイリアス設定や .forward 設定などによりメールを学外 (kyoto-u.ac.jp ドメイン以外) へ転送される場合には、X-Kuins-Spam ヘッダのついたメールをフィルタする処理を利用者の側で行ってくださいますようお願いいたします（設定方法は、KUINS ニュース本号別記事「KUINS のスパム判定サービスに対応したメール転送フィルタの設定について」に掲載しています）。利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、大変申し訳ありませんが、spam 判定に関わらず、全てのメールを学外に転送されたい場合は、独自でメールサーバを運用いただくこととなります。ただし、このようなサーバが多数運用されるようになりますと、個々の IP アドレスではなく、本学全体の IP アドレスがブラックリストに登録されかねませんので、spam メールの学外への転送にはご配慮いただきますようお願いいたします。

KUINS のスパム判定サービスに対応したメール転送フィルタの設定について

前記事（「spam メールの学外転送の制限について」）において、スパム判定されたメールを学外に転送しないようお願いしておりますが、ここではそのための UNIX 上での設定方法を、全国共同利用大型計算機システム sakura を例にとり紹介します。

本記事では、sakura 上でアカウント x12345 を持つユーザ（x12345@sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp）宛に送られて来たメールのうち、X-Kuins-Spam ヘッダが付いているものを削除して、それ以外のメールは「Redist.Address@example.net」というメールアドレスへ転送する設定方法を紹介いたします。設定を間違えると、メール紛失という事態にもなりかねませんので、作業には十分ご注意ください。

なお、以下に説明する方法では、「.forward」というファイルを作ります。既に「.forward」を作って学外転送を行っている方は、以下の説明において、「.forward を作る」部分を、「現在の .forward を説明通りに書き換える」という作業に読み換えて下さい。また、以下の方法では、「.forward」に 1 行記述しますが、2 行目に

```
\x12345
```

という行を追加しますと、来たメールは全て自分のメールスプールに溜めつつ、上述した選択転送を行うことが出来ます。この場合、誤ってメールを消してしまってもスプールに残るため安全ですが、定期的にスプールを削除しないとファイルサイズが増大し、ディスクを圧迫する可能性がありますので、ご注意ください。また、以下に示す例では、特殊記号等記述したものは全て書いて下さい。例えば「.forward」における両端のダブルクォーテーションマークもファイルに書きます。

1. slocal を用いる方法

MH の slocal というコマンドを使って実現します。slocal が /usr/lib/nmh/ に、sendmail は /usr/sbin/ にインストールされているものとします。それ以外のところにインストールされている場合は適宜読み替えてください。

自分のホームディレクトリの下に、「.forward」と「.maildelivery」という2つのファイルを置き、それぞれの内容を以下のようにして下さい。「.forward」よりも先に「.maildelivery」を作して下さい。

(例1) が上で説明した動作です。(例2) は、「Spam メールは spam という名前のファイルに追加し、それ以外のメールは「Redist.Address@example.net」というメールアドレスへ転送する」という動作を行います。

なお、slocal の一般的な使い方については、UNIX 上のマニュアル (コマンドから `man slocal` を実行) や一般の web ページ (http://media.laic.u-hyogo.ac.jp/~hayashi/internet/MH/mh_guide03.html) などをご参照下さい。

(例 1)

「.forward」の内容 (以下の1行。両端の"も含みます。)

```
"| /usr/lib/nmh/slocal -user x12345 -suppressdup || exit 75"
```

「.maildelivery」の内容 (以下の2行)

```
X-Kuins-Spam   Spam   destroy   ?   -  
default - pipe ?    "/usr/sbin/sendmail -oi Redist.Address@example.net"
```

(例 2)

「.forward」の内容 (以下の1行。両端の"も含みます。)

```
"| /usr/lib/nmh/slocal -user x12345 -suppressdup || exit 75"
```

「.maildelivery」の内容 (以下の2行)

```
X-Kuins-Spam   Spam   file   ?   spam  
default - pipe ?    "/usr/sbin/sendmail -oi Redist.Address@example.net"
```

2. perl を用いる方法

perl が /usr/bin/ にインストールされているものとします。それ以外のところにインストールされている場合は適宜読み替えてください。

自分のホームディレクトリの下に、「.forward」と「sc-filt.pl」という2つのファイルを置き、それぞれの内容を以下のようにして下さい。「.forward」よりも先に「sc-filt.pl」を作して下さい。「.forward」中の「/home/r/x12345/sc-filt.pl」はユーザ個人のホームディレクトリを指しますので、こちらも適宜修正下さい。

「sc-filt.pl」の内容

```
#!/usr/bin/perl
while(<STDIN>){
    if(/^X-Kuins-Spam:[ \t]/i){exit}
    $h.=$_;
    if(/^$/){last}
}
open(PROC,"| /usr/sbin/sendmail -i $ARGV[0]")||exit 75;
print PROC $h;
print PROC <STDIN>;
close(PROC);
if($?){exit 75}else{exit 0}
```

「.forward」の内容（以下の1行。両端の"も含みます。）

```
"| /usr/bin/perl /home/r/x12345/sc-filt.pl Redist.Address@example.net || exit 75"
```

spam 判定ヘッダ統一のお知らせ

現在、spam 判定サーバとして、Symantec 社製サーバと McAfee 社製サーバを使用しておりますが、それぞれで判定結果を表すヘッダの表記が前者で“X-KUINS-spam”，後者で“X-Kuins-Spam”と異なっておりました。

2007 年 10 月 3 日に、これを KUINS ニュース等での広報内容通り“X-Kuins-Spam”に統一させていただきました。この変更によりメールソフトの設定変更等が必要になる場合があります。皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

KUINS-III NAT サーバの増強と SSH への対応について

KUINS ニュース No.49「NAT 装置の運用開始について」でお知らせしておりますように、KUINS-III の VLAN から学外への POP, IMAP 等のプロトコル（詳細は KUINS ニュース No.49 を御覧下さい）を中継する NAT 装置を運用しています。これまでは、吉田、宇治、桂キャンパス全てからの中継を 1 台で賄っていましたが、装置への過負荷を解消するため、2007 年 9 月 7 日より、構内毎に 1 台、計 9 台の装置を導入致しました。

また、今回は、これまでのプロトコルに加えて、SSH の学外への通信も中継するように致しました。SSH においては、装置への負荷を考慮し、5 分間無通信の状態であるとセッションを切るようにしておりますので、ご注意ください。

これまで同様、PC の設定を変更する必要はありませんし、通常の KUINS-III の CLOSED 設定の VLAN からは特別な申請なく利用することが出来ます。利用に関する問題点等ありましたら、q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp へ御連絡をお願い致します。

KUINS 会議日誌

平成 19 年 8 月 1 日～平成 19 年 10 月 19 日

情報環境機構 KUINS 運用委員会

平成 19 年 9 月 10 日 (平成 19 年度 第 5 回)

- 平成 19 年度第 4 回 KUINS 運用委員会議事録の確認
- KUINS 運用委員について
- KUINS 接続機器登録データベースについて
- KUINS ニュースについて
- KUINS-II サブネット連絡担当者への連絡用メーリングリスト作成について
- SINET3 接続関係
- NII 提供サーバ証明書発行について
- KUINS 状況報告
- その他

平成 19 年 10 月 15 日 (平成 19 年度 第 6 回)

- 平成 19 年度第 5 回 KUINS 運用委員会議事録の確認
- KUINS 運用委員について
- KUINS 経費報告
- KUINS ニュースについて
- KUINS-II サブネット連絡担当者への連絡用メーリングリスト作成について
- NII 提供サーバ証明書発行について
- 光ケーブル借用願い
- KUINS 状況報告
- spam メール of 学外転送の制限について
- その他

お知らせ

KUINS ニュースへの寄稿を歓迎します。詳細は kuins-news@kuins.kyoto-u.ac.jp または下記までお問い合わせください。

問い合わせ先

情報環境部 情報基盤課 ネットワークグループ (075-753-7841, 7432)